

27紀企画発第245002号
平成27年12月1日

紀の川市長 中村 慎司 様

紀の川市行財政改革推進委員会
(印省略)

第2回紀の川市行財政改革推進委員会における提言書について

このことについて、平成27年10月28日に標記委員会を開催しましたので、設置要綱第2条に基づき、委員会における意見を別紙のとおり提出します。

提 言 書

日 時 平成27年10月28日（水） 午後1時24分から午後2時32分まで
場 所 紀の川市役所 本庁4階 402会議室
出席者 仁藤 伸昌 箕輪 光芳 高田 亮平 佐野 一男 戸中 勇
仲谷 妙子 岩橋 千明

審議事項

- (1) 紀の川市の財政状況について（平成26年度普通会計決算状況）
- (2) 第2次紀の川市行財政改革集中改革プランの進捗状況について

審議内容

平成26年度の財政状況及び今後の見通しを把握したうえで、第2次紀の川市行財政改革集中改革プランの進捗状況について審議を行いました。地方交付税の逡減を控え、厳しい財政状況は続きますが、市民サービスの維持・向上を図るため、全庁を挙げて、行財政改革の推進に取り組んでいるものと判断できました。明確な数値目標に向けての具体的施策にも前進が見られます。

つきましては、下記のとおり委員会による提言を記しますので、今後の行財政改革への取り組みをはじめ、次期行財政改革大綱及び集中改革プラン策定に際して反映されるようお願いします。

記

① 公共施設の見直しについて

第2次紀の川市行財政改革大綱において重点項目の一つとして掲げており、「公共施設マネジメント計画」の策定に向けて効率性を重視した実効性のある施設の統廃合、機能集約に向けて検討が行われている。適切な施設の機能転換により、市民サービスの低下を招かないようその推進に努めていただきたい。

② 外部委託（民営化）の推進について

限られた経営資源（財源、人員等）を効果的に配分する観点からも、行政と民間との役割分担を見極めながら、更なる委託の推進や民営化への移行など民間活力をより積極的・効果的に活用することで、簡素で効率的な行財政運営を実現していただきたい。

③ 行財政改革の目標値の設定について

「第2次行財政改革集中改革プラン 取組経過一覧」の様式については、取組事業数のうち実施済項目数とその達成率が表示されているが、財政効果額に主眼を置いた表示方法を検討していただきたい。

最後に、平成24年度から平成25年度に実施した「サマーレビュー」による取り組みや、今回実施する全職員を対象とした「職員アンケート調査」など、次代を担う若い職員を中心として緊迫感を持って行財政改革の推進に取り組んでおり、その意識を庁内共通の意識として、引き続き全庁体制で推進していただきたい。